

球根アイリスの種球貯蔵試験

南条 一夫*・八代 昇*・鎌田 光邦*

1 ま え が き

アイリス品種，イエロー・クィーンの球根養成栽培においては，種球がかなり小球であっても開花して扁平球となるため販売価格を下げている。この原因が植え付前の貯蔵温度にあるといわれていることから第1，2表に示す試験区を設け，貯蔵温度および種球の大きさと開花との関係について検討した。

2 試 験 方 法

(1) 供試品種

イエロー・クィーン
ナショナル・ペルベット

第1表 試験区

(1) イエロー・クィーン

区 No.	項目	貯蔵温度	種球の大きさ(平均重)
1		10 °C	3.1 g
2		"	2.6
3		"	2.1
4		"	1.1
5		"	0.7
6		15	2.9
7		"	2.5
8		"	1.9
9		"	1.2
10		"	0.7
11		20	3.4
12		"	2.2
13		"	1.6
14		"	0.9
15		"	0.7
16		25	3.4
17		"	2.7
18		"	1.8
19		"	0.9
20		"	—
21		室内貯蔵	3.4
22		"	2.5
23		"	1.8
24		"	1.3
25		"	0.8

(2) ナショナル・ペルベット

区 No.	項目	貯蔵温度	種球の大きさ(平均重)
1		10 °C	4.1 g
2		"	2.7
3		"	1.1
4		15	4.1
5		"	2.7
6		"	1.1
7		20	3.7
8		"	2.1
9		"	1.5
10		25	3.6
11		"	2.7
12		"	1.0
13		室内貯蔵	5.4
14		"	2.4
15		"	1.4

第2表 室内貯蔵区の温度

月	旬	最高温度	最低温度	平均
8	中	26.4 °C	22.2 °C	24.3 °C
"	下	27.4	24.2	25.8
9	上	26.9	22.8	24.9
"	中	24.4	19.9	22.2
"	下	24.1	18.0	21.1

(2) 栽培概要

掘り取り 6月19日(於耶麻郡塩川町)

貯蔵期間 8月16日～9月27日

植え付け 9月30日

3 試 験 結 果

(1) イエロー・クィーンの未開花率は種球重が重いほど低かったが，貯蔵温度の開花への影響は認められなかった(第1図)。

(2) ナショナル・ペルベットの未開花率もイエロー・

クィーンと同様に種球が大きいほど低かったが、本品種では種球重が重い区でも貯蔵温度の影響が認められた。つまり、低温貯蔵区ほど未開花率が高く、10℃貯蔵区ではその効果が顕著であった(第2図)。

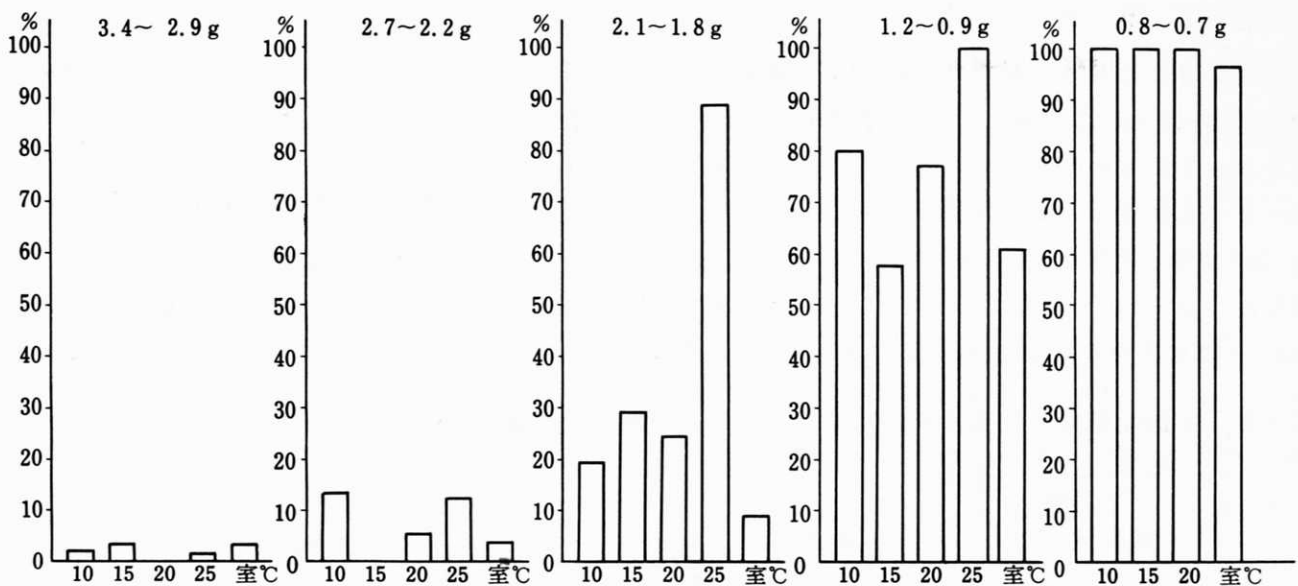
(3) 丸球の1～2等級は両品種とも低温度貯蔵区により多い傾向があった。

(4) 球根肥大率(販売球重/種球重)は未開花球および小種球ほど高い傾向がみられた(両品種)。

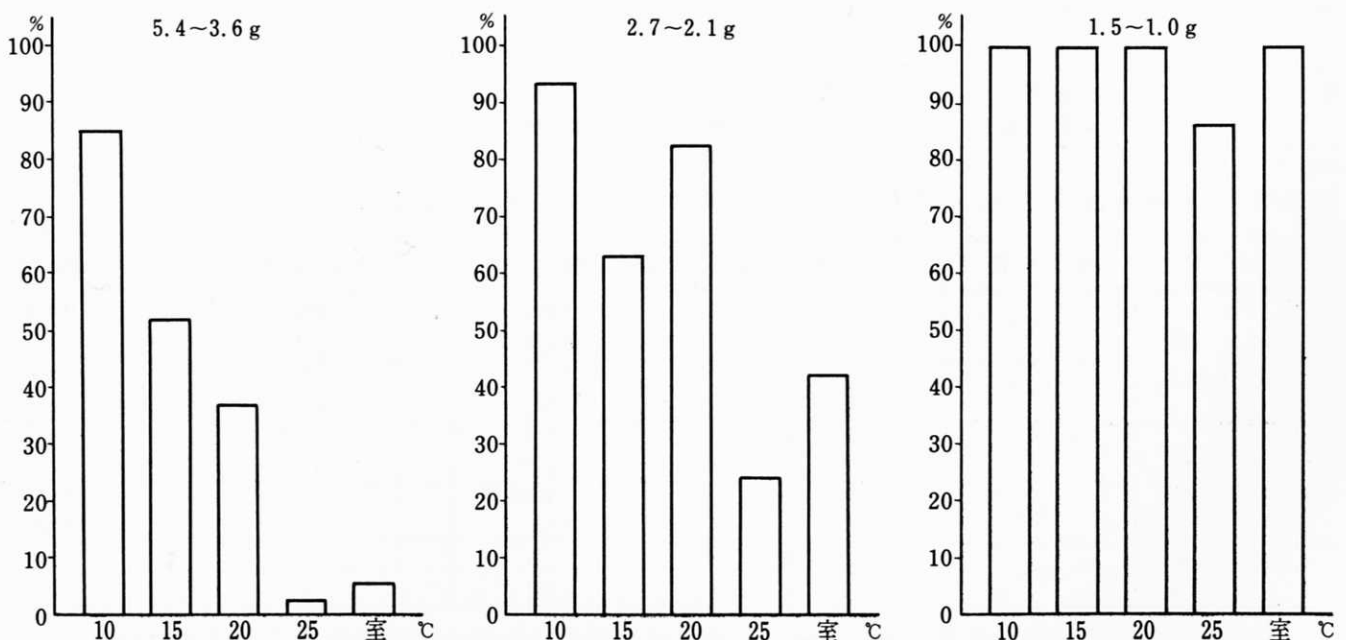
(5) 以上のことから、イエロー・クィーンとナショナル・ベルベットでは温度感応に品種間差があり、後者の場合、4号程度の種球を10℃で貯蔵することによ

って丸球の1等級を生産できるが、前者の場合は低温貯蔵の効果は認められず、1号前後の小種球を使用しなければ高い未開花率、すなわち、丸球は得られないと思われた。

なお、本報告にある未開花率とは開花しなかった球根の割合を示す。開花しない理由として花芽を分化しても座死してしまう場合と花芽を分化しない場合があるが本試験の場合開花しなかった球根に扁平球がみられなかったことから大部分は花芽を分化しなかったものと思われる。



第1図 種球の大きさ(球重)別未開花率(イエロー・クィーン)



第2図 種球の大きさ(球重)別未開花率(ナショナル・ベルベット)